田代時報
第21号
発行所　田代村公民館
電話2番の乙
発行責任者　湯ノ谷米吉
編集責任者　小川兵一
鹿屋市曾田町1647
印刷所　南日本新聞鹿屋支社
電話88・98・126番

成人教育振興の原動力
部落公民館設置によせて

公民館主事

今年度我が村の努力目標として『成人教育の振興』が取上げられていることは皆さん方も既に御承知のことと思いますが、この問題を如何に解決してゆくかは、私達村民にとつて今後に残された大きな課題であります。

部落公民館設置は、成人教育を振興する上の根本的な仕事であります。振興小組合長会に提唱して日もまだ浅いのに、次表の示すように村内三六部落の中公民館を設置して戴いたもの既に三五部落の多きに及び、余すところ唯一部落だけとなつたということは、成人教育振興の上から非常に慶ばしいことで、之も全く部落民皆様方の御理解御協力の賜と深謝する次第です。

馬を川の中に曳き入れることは出来ても、水を飲もうとする意欲のない馬に水を飲ませることは出来ないという諺があるように、社会教育（成人教育）も部落に受入体制が出来て初めて振興するのであつて、受入体制のない所にはいくら外部からの呼びかけがあつても、効果はあがらないのであります。この事は過去に於ける田代村の公民館活動で立派に実証されています。各部落に部落民の社会教育面（文化教養）のことを世話する役員組織が今迄なかつた為に、従来田代村の公民館活動は中央部丈けの活動に終つて、部落には一向その趣旨が徹底しなかつたのであります。

然しながら今回各部落に公民館が設置され、公民館長や主事という部落民の社会教育（教養文化）のことをお世話する役員組織が出来たために、も早惰勢は一轉しつつあります。今迄は足りない知恵をしぼつて、村の公民館が振興小組合長会や総務委員会に呼びかけて、ああもして下さい、こうもして下さいと一心にお願をしてみても、他人事のように思われるのか部落にはどうしても徹底しては戴けないのが常でした。でも、今回各部落に公民館長と主事が選任されたというただそれだけのことで部落公民館から村の公民館が逆に尻を叩かれている現状で、嬉しい悲鳴をあげています。これが理想的公民館の本当の在り方だと感謝している次第であります。

今迄は、足りない私共の考えだけで進められてきた田代村の公民館活動も、これからは各部落公民館長、主事さん方を通じて、村民全部の声が村の公民館活動に直接反映するようになるわけですから本年度の田代村の努力目標である『成人教育の振興』は、既に半分以上達成されたというつても過言ではなく、村の成人教育の将来は期して俟つべきものがあると信ずるのであります。

教育は学校教育と社会教育の二つに大別できると思います。之等は恰度荷車の両輪のようなものでどちらの一方が欠けても教育は健全に行われないのであります。

学校教育を進める為に学校という施設や機関が必要なように、社会教育を強力に進めてゆく為にもやはりそれにふさわしい施設や機関が必要で、この必需性に添つて生れたのが公民館であります。こうして公民館活動は、地方に於ける唯一の社会教育機関として、いままで全国的運動として発展の一途をたどりつつあります。

学校教育は未完成な子供を対象に先生が教を授けてゆくものですが、社会教育（成人教育）は、一個の人格者である大人が対象で、時には自ら生徒となり又先生となり乍ら、お互に切磋琢磨してもつと住みよく明るい社会を作ろうと勉強し努力してゆくもので、学校教育とは性格の大きく違う点があります。もつと分り易く云えば、学校で先生が生徒に知識を与えてゆくのが学校教育であり、お互の創意工夫によつて社会の中に先生を発見し、自ら知識を求め心を磨くのが社会教育（成人教育）であります。

その意味で、各部落に公民館が設置され一応役員も決まり自ら求める体制が整つたということは、本村に於ける成人教育の一大飛躍だと云わねばなりません。旧振興小組合長さん方の陰の御労苦に対し深甚の謝意を表する次第であります。この事が何年か否何十年か後には、必らずわが郷土を振興す底力となつて現われることを確信するものであります。

教育効果というものは、経済効果のように一年や二年の短日月で現われるものでは決してないので近視眼的な視野の狭量な人達には兎角理解されにくいため、その挙に当つて戴く部落公民館長や主事さん方が、社会教育活動を熟心に推進しようとすればする程色々な障碍に遇つて非常に苦しい思をされることも必らずありましよう。然し之等の苦労に耐えて頑張つて戴くことがわが村の社会教育（成人教育）を振興させることでありひいては郷土永遠の発展を図る道だと信じて疑いません。少し位の困難にめげることなく、最後迄頑張つて戴けますよう切にお願申上げる次第です。

次に各部落の公民館長さん主事さんを御紹介申し上げます。

◎部落公民館設置状況

公民館名	館長名	主事名
下	大浦 義彦	大浦 東
馬場		
東ノ原	山下 一良	小園 昌衛
長谷	前之園敬二	湯之谷 麗
西中郡	押川熊次郎	
東中郡	福迫 初志	金子 貢
橋ノ口	四迫 栄	橋口 栄
中村	宮園 清造	中村 和郎
山下	湯ノ谷義雄	岩下 清
岩崎	上園 重夫	折小野武二
表木	田淵 文雄	尾ノ後 博
折小野	折小野 高	茅野 潤
山ノ口	上ノ原 繁	大内山 昇
西大原	中野 純吉	川辺 義雄
東大原	寺園 五男	大浦瑞光則
中尾	横原 正市	門松 虎吉
新田	白井 利隆	江田 武雄
内ノ牧	梅元 虎	官行山 福元 義彦
鶴戸野	宮原 栄熊	牧原 益男
久木野	岩下 正一	石原 鉄夫
鰹山	伊藤佐江吉	山喜 見森
富田	五味 幸夫	東郷 仁
平石	福永 敏助	平石 常蔵
柴立	今村 貞良	林 憲之
上柴立	小園 常雄	柴立正千代
上原	小路 正吉	上原 哲郎
原沢	原沢美代二	川辺 三男
池野	貫見 辰雄	浜田 文夫
中野利三郎	中野 利	時吉 満男
猪鹿倉	上八重勇吉	猪鹿倉忠義
早瀬	小路 尊吉	鳥淵 節夫
郷原	米森 乙吉	松崎 貞三
辺志切	辺志切 早	近川 直義
鶴園	舞原 正一	瀬ノ口二

昭和二十九年度予算について

昭和二十九年度当初予算は去る三月十日より二十七日まで慎重に審議一八、四一五千円を原案通り可決成立致しました。

予算の編成に当つては村の福利増進を図るべく道路網の整備、産業の振興、教育施設の充実等建設的経費に多額を投ずべく極力努力致しましたが、何分にもその事付た収入には限度があり且つ一般事務的経費も義務付られるものが相当額に登り、かゝる投資的経費に存分の予算計上は出来ず、たゞ従来の姿を踏襲し、非常に消極的な予算ならざる を得なく誠に申訳ないと存じて居りますが、一応その概要について説明を申上皆様方の理解ある御協力を願い次第であります。

歳入の内村税及び平衡交付金は相当の改正も予想されましたが、二十九年度と同様の方法で計上致しました。

村税は最近皆様方の御協力によりその納入成績は相当に上つたとは云え三月末日現在においても尚相当の滞納があり二十八年度の経理を心配致して居るのであります。二十九年度予算におきましてもこれらの滞納を見込約四八万円を計上致して居ります。

財産収入につきましては施業案を確定しこれに基き毎年二百余万円を伐採、収入を見込まれる事となつていますが、これは植林費及び国有林払下代納入金（三〇万円）並に借入金の償還に充てると一バイの状態であります。

国県補助金につきましてはその大部分が事業施行のための裏付で配付されますが当初予算編成の現在国庫予算の緊縮並に大巾な補助打切が予想されましたのでこれらの確定を待つて追加措置することとし、当初予算におきましては何等計上しなかつたのであります。

歳出につきましては、別表によりわかります通り、役場費が三一％で首位を占め、教育費、産業経済費、財産費、土木費の順となつていますが、これ等の中にも特に目ぼしい新規事業は見当らず、産業施策にしても土木事業にしても従来の行き方と大差なく一般的経費に追はれている様な状態であります。財産費につきましては国有林払下地の植林費が大部分で、二十八年度におきましても絶大なる皆様方の御協力により、予期以上の成績を挙げましたが、農協では之を契期に"貯蓄心の昂揚"と"村努力目標の達成を図る為、毎月二十五日を『一日皆貯金日』として日常義務を休ませて戴き、職員が各家庭を貯金吸収に歩く事に致しました。

この日は、『一日現金なしデー』として生活して戴き、手持の現金は全部、一日でも一まづ貯金して下さい。婦人会貯金、納税貯金もこの日は集金致します。

田代農協

毎月二十五日は「一日皆貯金日デー」

去る三月二十九日行いました『一日皆貯金日デー』の結果は、皆様の御協力により、予期以上の成績を挙げましたが、農協では之を契期に"貯蓄心の昂揚"と"村努力目標の達成を図る為、毎月二十五日を『一日皆貯金日』として日常義務を休ませて戴き、職員が各家庭を貯金吸収に歩く事に致しました。

この日は、『一日現金なしデー』として生活して戴き、手持の現金は全部、一日でも一まづ貯金して下さい。婦人会貯金、納税貯金もこの日は集金致します。

田代農協

牛馬調教講習会を顧みて

畜産の成果は素質、飼育、調教の三要素並進により上るのであつて、此の内の一つでも欠点があつたならば成果は期し得られないのである。而して本村に於ては従来から此の調教が疎にされ勝であり最も欠点とするところであつた。此のため本村の畜産がどの位不利であつたかは測り知れないものがある。

今回全国的に其の名を知られ斯界の大権威者である原重輔氏の帰省を懇請し、幸に其機を得たので村内三ケ所三日間に亘り調教講習会を施行して大なる成果を得たのである。

凡そ世の中のこと総べてが相手の気分を善ばせその気分を摑めば間違はないのであつて、役畜の調教のコツもそこにあるのである。牛馬が人に謀叛したり加害したりするのは何かそこに原因があり人に恐ろしいからの行為である。

従来の我々のやつた如く叱る事と詈める事は、益々それを助長するに他ならないのである。牛馬に安全感と信頼感を与えることが調教の第一要件であり絶対的に気永が必要である。

次は畜類の天性習性を摑みこれを利用することである。人や物が触れて気持のよい所とこれを嫌ふところを知り、五感の働き殊にその特長を生かさねばならない。所かまわず勝手に蹴るからしくじるのである。

次に大事なことは装具、器具の選択と附着方法である。波の打たない太い手綱、具合の悪い重い鞍切れ切れの帳綱等で牛馬を思う様に使はうと思うのが無理である。又牛馬は言葉こそ出さないが人の言うことはよく判つて居るのである。常に言葉をかけて人と話す気持で話しかけるべきである。

以上は、こく重要なことのみについて簡単に述べたに過ぎないが、要は本村の牛馬は調教と言う面が甚だ不十分である。品評会、共進会等で自分の牛馬を思う所へ立たせ、思う様に歩かせ思う様に駈けさせる人が幾人あるであろうか。これでは田代畜産の名声を挙げるには程遠いものがあり、不可能でもあろう。

今回の講習会に非常に熱心に受講された方々も多かつたが、又こんな又とない機会を全然無関心の部落も相当あつたことは遺憾であつた。畜産も他の農業経営と同様昔式のやり方では最早時代遅れであつてどんどん取残されるのである。畜産によつて収益を上げたいと思うならば素質から改良し厩舎飼料管理調教と心魂を打込まねばならない時代になつたのである。

最後に牛馬を使う言葉は地方によつて異るのであるが、参考迄に全国共通の言葉を紹介すると次の通りである。

左	右
サシ	セ
止レ	前進
パア	シッ
後退	徐歩
ハイ	バー
速歩	曳撫
駿戒	オーラ
コラ	

綱を踏み又は殴げた場合　アシ

（経済課長）

経済自立実行事項

◎水　稲

1、種子の準備及び種子消毒
品種は自分の土地、労力、耐病性の品種を選ぶ。
種子消毒ウスブルン一、〇〇〇倍液（水一斗にサカヅキ一杯）に六ー二時間浸種する。

2、苗代準備、健苗育成のもととなる床、それは四尺巾の揚床がよい。
播種量は坪当り三合以下とし均播する様反当二十坪は準備する。

3、苗床肥料
堆肥、紫雲英は早めに坪当り各一〇〇位宛に鋤込む。
紫雲英がない場合坪当り
（イ）硫安一五匁、過石二五匁、木灰一〇〇匁。
（ロ）油粕六〇匁、過石三五匁、木灰一〇〇匁。

4、苗代管理
湛排水播種後三日間位は稍深めにし、その後は（一分）程度の浅水とするが、夜間は五ー六分の深水として保温する。
キリウヂカガンボの駆除
（イ）苗代設置場所は湿田を避け乾田に設ける事。
（ロ）二尾夜位深水し畦畔に集め幼虫を捕殺する。
（ハ）苗代に発生したら、落水しBBT乳剤〇、〇五％液を撒布する。

◎甘　藷

1、植付時期　甘藷の生育に適当なる温度（平均気温十八度）以上になつたら、早い程収量が多い。五月下旬から六月中旬迄が適期である。

2、採苗、苗は品種に依り異なるが、七寸前後の健苗な苗を植る。

3、採苗の都度人糞尿を追肥し、後苗の生育を促進する。

4、畦巾、株間
畦巾は肥沃地で屋く高畦、乾燥地は狭く
普通畑で反当四、〇〇〇本位がよいのでこれを基準にもつて行くがよい。

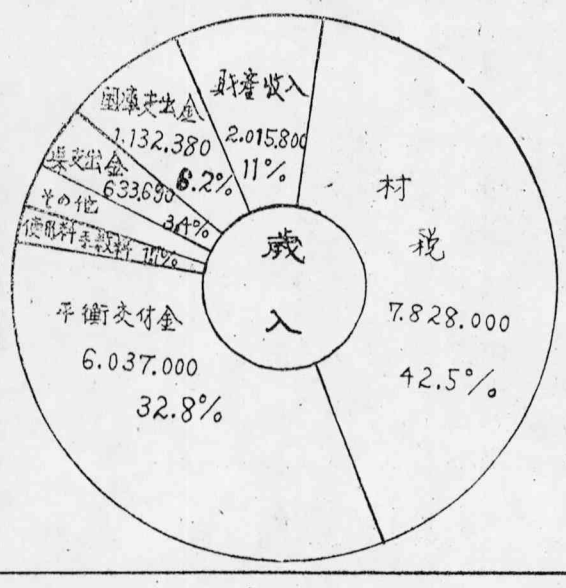
5、植方は水平植を標準とし、苗先（根開張）三節を出して親葉を埋めない様に軽く覆土する。

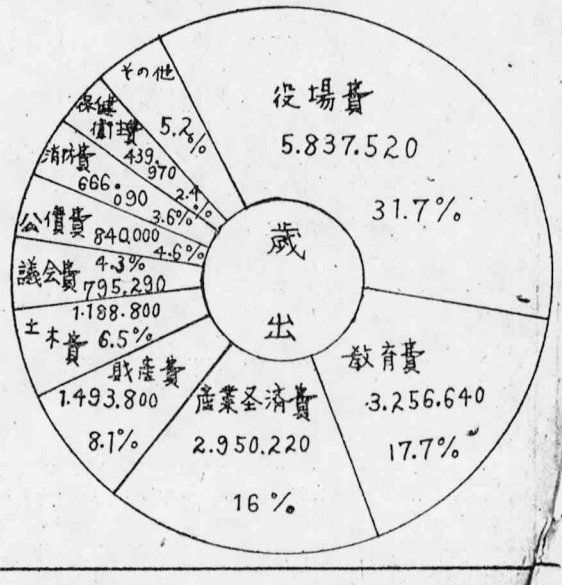
6、肥　料
収量におよぼす肥料の影響は大きいが、窒素分を多量に施すと蔓だけが繁茂し、多収穫が望めないので、堆肥と加里の増施に努力すべきである。
例　堆肥四〇〇貫、硫安四貫、加里五貫、熔燐六貫、又は堆肥四〇〇貫、甘藷配合一五貫

◎陸　稲

1、適期播種
現在の品種は晩生種が多いので早播程収量が多いので、五月下旬ー六月上旬の間に播き終ること。

2、肥　料
自給肥料の増施による増収が期待されるので堆肥に重点を置き金肥は陸稲配合の施用を全面的に実施したい。反当十五貫。
陸稲には熔燐は出来るだけ今年は避けて下さい。





納税完納あと一息

五月で滞納総決算

一、納税総決算の月
この五月は、二十八年度の出納閉鎖の月で、納税もいよ〳〵総決算の月となりました。
一、努力目標完遂へ
二十八年度の努力目標であつた納税成績は、皆様方の絶大な御協力の御蔭を以つて、三月末で完納部落二〇部落、二十八年度分は二十四部落が一〇〇％になりました。
あとの部落も、ごく少数の人達の未納があるためで、大多数の人々は完納済となつており、あと一息で一〇〇％になれるところをまことに遺憾な次第です。
完納者の御努力に対しても、その気持ちを察し、此際思つ切つて滞納整理を断行し、そして昭和二十八年度の努力目標を完遂しようではありませんか。

昭和二十八年度三月末納入成績

部落名	現年度	繰越滞納分
下馬場	100％	100％
東ノ原	100	100
長谷	100	100
東中郡	100	100
橋ノ口	100	100
中村	100	100
山下	100	100
岩崎	100	100
表木	100	100
折小野	100	100
泉大原	100	100
鶴戸野	100	100
鹿山	100	100
潮戸口	100	100
猪鹿倉	100	100
鳥淵	100	100
早瀬	100	100
辺志切	100	100
鶴園	100	100
原沢	100	八六、三
郷ノ原	100	八二、八
西大原	100	八三、〇
柴立	九八、五	七五、九
中尾	八六、四	八六、九
新田	八九、七	八三、〇
官行山	九八、六	六五、〇
西中郡	一〇〇	六一、六
池野	九五、〇	六五、六
平石	九五、三	六三、九
久木野	七八、二	七九、八
内之牧	七六、二	八一、四
山之口	八七、三	五九、一
上柴立	八七、八	三九、〇
畠田	八七	三九、三
上原	七七、六	四〇、九
平均	九六、一	八五、六

田代高校独立校へ昇格す

根占高等学校田代分校は昭和二十三年四月一日田代教場として発足、昭和二十五年四月一日には田代分校として昇格認可され今日に至つていたが、昨年來田代高等学校として独立昇格の陳情請願をなしつゝあつたが、昭和二十九年四月一日附をもつて左記の通りいよいよ鹿児島縣田代高等学校として独立認可の指令に接した。
今後は更に一層村民の高等学校に対する御援助御協力をいたゞき名実共に勝れた高校の育成を計り本村中堅青年の育成にお互全力を捧げたいものです。学校当局並に生徒も独立の喜びに浸り緊張の姿で学校発展のため洵にうれしい限りである。

記

二九指令第六八二号
田代村教育委員会

昭和二十九年四月十日附で申請の鹿児島縣根占高等学校田代分校を鹿児島縣田代高等学校に変更することについては昭和二十九年四月一日をもつて認可する
昭和二十九年四月二十二日
鹿児島縣教育委員会

主婦の手帳

毛織物の手入れとしまい方について

暖かい季節になりますと何処の家庭でもなさいます冬物の手入れと始末について述べてみましよう。
冬の初めから毎日着続けて参りましたオーバーや毛糸のセーター、毛織物の洋服等、ゴミやホコリや汚染、体の脂等ですつかりカビだらけになつてしまつたり、翌年変くなつて着ようと思つて出してみてあちこちが汚染だらけになつてしまつていたりします。
毛織物の衣服を長持ちさせる為には勿論フダンの手入れが大事な事は皆様御存じでしようが、最初に此のフダンの手入れについて述べますと、
先ず第一に良くブラシをかける事です。旅行の後や風の強い日の外出後は思いのほかゴミやホコリがついているものですから、必ずブラシをかけて組織の中に入り込んでいるゴミやホコリを除くことは勿論のこと、ふだんでも一週間に一度位は必ず丁寧にブラシをかけて下さい。こんな平凡なことでも案外毛織物のためになるものでもちが大変違います。毛織物は仲々耐久力が強いものですから手入れさえよければ寿命も長く、いつも新しくきる事が出來るのです。
又良く乾燥することも大事なことです。一週間か十日に一回位は風通しのよいところで充分乾かしましよう。雨の日の外出のあとの乾燥はもとより必要なことです。この時軽く鞭でホコリを叩き出しブラシをかけると一層よいと思います。
乾かす時も男物の地味な色合の濃い黒や茶などは直射日光にあてることはさけて下さい。又汚れやシミがついたらなるべく早くとり去ることです。
雨の日の外出のあとの泥ハネ等も乾かしてハケをかけると必ずとれます。即ち余りよごれていない様なものはよく乾かしてホコリを叩き出すようにしなければ、厚地のものは組織の中には入り込んでいるホコリが多いものです。
ホコリを叩き出してから後をブラシでよく払つて衿先や袖口をキハツ油かベンヂンで拭いてからアンモニヤのうすい液をタオルに含ませて軽く絞つてこれで洋服全体をまんべんなく拭いて後をよく乾燥します。乾燥してしまつてから形を丁寧に元にかえし、尚良く乾燥して防虫剤を入れてしまいましよう。

おいしいつくだにをつくりましよう

材料
するめ　三枚　昆布　二枚
大豆　一合　煮干　少々
人参　三本　醤油　三合
鷹酎　五勺

作り方
1、するめ、昆布のごみを布きんでよく落す。
2、するめの胴と足をはなす。
3、するめの胴を縦に二つ割にして短冊に切り足も細くきざむ。
4、昆布も小さくきざむ。
5、大豆はゆでゝ水気を切る。
6、人参は半月にうすく切る。
7、煮干をきざむ。
8、全部の材料をよく混ぜ合せる
9、材料をつぼの中にうつす。
10、鷹酎をふりかける。
11、醤油をかける。
12、上、下よくまぜてから蓋をする。
毎日一回づゝまぜ、四、五日してから食べられます。
作り方も材料も手近にあるものですし、栄養、特に蛋白質が充分含まれていますので保存食品として是非作りたいものです。

村政の有難味に徹せよ

過去一現半小組合長の重職を体験して痛切に感じたことは、村民が村政の有難味に徹することだ。金満家の息子が金の有難味がわからないと同様に、村政の有難さも余りに有難すぎることに慣れてしまえば有難味を忘れ易い。そこで最近縣下各地に於て成人教育が叫ばれるに至つたのである。
昔水戸黄門様は、助さん、格さんを左右に伴われて国狀を忍びやかに視察されたことは余りにも有名で、我が上田村長も之に劣らぬ名村長にして、其の周囲には多数の助さん、格さんが村長の指図に従い、四方八方に経済自立化運動達成のために飛び廻つて居るではないか。実に有難い極みである。
先ず眼を世界に向けて見るに、第一次大戦に於て勝つた筈のロシヤは、遂に革命が起つて皇室は崩壊して現在世界的民主々義を基礎として、世界平和に貢献することが、日本の健命であることを深く自覚する時、先ず其の根源となるべき者は郷土愛の精神に燃え、田代の文化発展に寄与してこそ、人間としての生き甲斐と悦びが得られるのである。
そこで標題の如く『民主的村行政に深く感謝出來る人間幸福の幸福は与へられる者と絶叫したい』よろしく村民の御反省と御叱正を念願致す次第であります。

早瀬小組合長を去るにのぞんで　小路善吉

元來民主々義の語源は最初ギリシヤの国に於て唱えられたのであるが、我が日本には古くより日本的民主々義の精神は燦然と輝いていることを忘れてはならない。此の日本的民主々義を基礎として、世界的民主々義を取り入れ、消化し、世界独特の民主的国家として世界平和に貢献することが、日本の健命であることを深く自覚する時、先ず其の根源となるべき者は郷土愛の精神に燃え、田代の文化発展に寄与してこそ、人間としての生き甲斐と悦びが得られるのである。
そこで標題の如く『民主的村行政に深く感謝出來る人間幸福の幸福は与へられる者と絶叫したい』よろしく村民の御反省と御叱正を念願致す次第であります。

早瀬小組合長を去るにのぞんで　小路善吉

村内各学校職員異動

（敬称略）

田代中学校
轉出
池水ヒデノ　宿利原中学校へ
永田　幸孝　川崎市へ
來任
溝　清子　神野中学校より
大原分校
轉出
中野　耕逸　退職
上野　敦彦　大泊小学校へ
來任
原田　実　野里小学校より
天野　中道　新任
田代高等学校
轉出
池端　ヒデ　退職
來任
潤戸口　春　伊作高校より

田代小学校
轉出
脇田　重耀　大崎小学校へ
末吉　浩男　神野小学校へ
西田　アヤ　内之浦町宮原分校へ
來任
谷口　信敬　大泊小学校より
大原小学校
轉出
肥後　貢　宮田小学校長へ
原沢　政香　池田小学校へ
芝原耕太郎　鹿屋市浜田小学校へ
川辺　キエ　退職
來任
鳥越　直次　宿利原中学校より
新山　昇　新卒
鈴木　孝造　池田小学校より
脇田　睦子　宿利原小学校より

昭和二十九年三月中学校卒業者の動向

田代中学校卒業生一一八名中
進学率　田代中　七四・六一％
大原分　三八・七八％
計　六四・〇七％

田代高校　五七名
根占高校　二一名
鹿屋高校　一名
鶴丸高校　一名
甲南高校　一名
玉龍高校　一名
昭国簡業高校　一名
鹿実高校　一名
串良農業講習農場　一名
就職　一名
家事手伝　一名
田代中大原分校卒業生四九名中
田代高校　一七名
根占高校　一名
美容学校　四名
就職　二六名

田代時報原稿募集

一、田代時報編集部では厳く村民皆様の御投稿をお待ちして居ります。
二、内容は何んでもかまいません
三、字数は出來るだけ十五字詰一四〇行以内にして下さい。
四、締切　毎月二十日以内に公民館にお届け下さい（二十日すぎでも差支がなければ翌月号に登載致します。
五、原稿が余る場合は編集委員会で厳選して登載順を決めます。
六、原稿はお返しいたしません。

昭和二十九年度社会教育事業計画

田代村公民館

目標

成人教育の振興

努力点

1、部落公民館の育成強化
2、青年教育の振興
3、図書館活動の拡充
4、道義の昂揚
5、社会教育関係團体の育成補導
6、公民館施設の充実
7、健全娯楽の普及

月別	祝祭日其の他	行事予定	要領	会合	学級講座
4月 3日	花潤公園祭り	素人のど自慢大会	花潤公園祭りの行事として館長主事の選任	各種行事開催	
7日	世界保健デー	部落公民館設置促進運動	定期総会開催	公民館主催	
10日	婦人の日	婦人週間（婦人大会開催）	教育委員会主催	公民館後援	
28日	結核予防デー	青年学級婦人学級閉講式	運営審議会	教育委員会	
29日	天皇誕生日	青年学級婦人学級講師委嘱	教育委員会で検討	公民館学級運営	
5月 1日	メーデー	部落公民館主事研修会	社会教育委員会主催	公民館研究	
3日	憲法記念日	婦人活動強化促進運動	公民館後援	青年学級	
5日	こどもの日	青年学級入学式	教育委員会主催	部落公民館	
10日	母の日	托児所保母講習会	別院に交渉	部落主事会	青年学級
6月 1日	時の記念日	青年團活動強化促進運動	各部落自立的に開設し	民会	婦人学級
10日	社会教育法施行記念日	部落公民館主事会	公民館は経費の補助をする	公事	托児所保母講習会
21日	夏至	托児所開設	田植時の賄等	部落主事会	
		冗費節約			
7月 1日	七夕	壮年團結成	原則として大字単位	民会	
11日	土用	社会教育振興運動	委員会が主となり強力	部落主事	婦人指導者講習会
23日	大暑	婦人指導者講習会	に民主團体に呼掛ける	公民館長	
		部落公民館長会議	公民館主催		
		成人教育振興研究会			
8月 7日	立秋	夏季大学講座（指導者講習会）	村内全指導者層及希望者全員	館長	夏季大学講座（指導者講習会）
13日	ウラ盆	各種グループ活動奨励促進	各種同好会の結成促進	公民館修会	
15日	太平洋戦争終結記念日	道義昂揚運動	ウラ盆の時期を利用	公民館研	
		青年討論会	公民館主催	部落主事	
		部落公民館長主事研修会			
9月 1日	二百十日	としよりの日行事	敬老会主催	團体運営	
15日	としよりの日	官公團体連絡協議会	公民館で斡旋	公民館協議会	
23日	秋分の日	民主團体運営研究会	公民館主催	團体研究会	
		婦人先進地視察	公民館後援	公民館主催	
10月 3日	十五夜	村内与論調査	公民館運営について	運営	
		貯蓄目標完遂運動	部落公民館婦人会等に	PTA協議会	
		PTA連絡協議会	呼かける	公民館主催	
		青年教育振興研究会	公民館斡旋	官公協議会	
			各種指導層	民主團体研究会	
			文化の日の行事として	民会	
11月 3日	文化の日	文化祭り	公民館主催	公事	
23日	勤労感謝の日	部落公民館主事会	教育委員会が主になり	部落主事	
		成人教育振興週間	社会教育委員会開催	公民館	
12月 10日	世界人権宣言記念日	青年産振大会開催準備	発表者氏名報告		
23日	冬至	田代村十大ニュース募集	村内一円		
25日	クリスマス	生活合理化運動（年末年始の問題研究）	委員会で検討		
		村民努力目標検討	右同		
1月 1日	元旦	部落公民館主事会	公民館主催		
5日	成人の日	成人式、青年年産振大会	教育委員会主催		
18日	土用	中央公民館建設促進運動	運営審議会主体		
21日	大寒	篤農家と語る会			
		公民館予算編成	公民館主催	公民館	成人式
		婦人生活合理化体験発表大会	公民館後援	部落主事会	
2月 4日	節分	納税完遂運動	役場に協力	民会	学級合会
5日	立春	郡青年産振大会派遣	公民館主催	公事	学級式
		村づくり研究綜合座談会	公民館主催	部落主事	村づくり研究座談会
		婦人と青年と語る会	右同	公民館	青年学級婦人学級修了式
3月 6日	皇后誕生日	青年産振大会派遣	公民館主催	公民館	学級式
8日	国際婦人デー	母と娘と語る会	花潤公園祭りに國運	公事	青年学級婦人学級修了式
10日	村振興大会	芸能コンクール	公民館主催	部落主事	
21日	春分の日	青年学級婦人学級修了式	教育委員会主催	公民館	